

## 佐々木常夫

京大経済学研究科  
教授・顧問

1944年10月22日生まれ。69歳。69年、東京大学経済学部卒業後、東大に入社。入社●年後、夫人の肝煎願とオン・物を思ふ。着席や仕事に釣られる中、包み込み時間て勉強に専念を出して仕事を辞す。10月には東京大学に就任。10年からは東大経済研究科の理事を務めた。著書に『そうか、僕は部長になったのか』など

## リョウ

シーズー犬・オス

2002年10月22日生まれ。11歳。67cm。以前に飼っていた犬のリョウと似たネーミングが気に入った。この名前にはオスらしく、女性には愛用を返り多く、最少物は女性に抱かれると、興奮してオシッコを引っかけたこともしばしば。甘いもの大好きなので、ヨーヨーの音がすると、お茶うけの音菓子ほしさに転んで来る

撮影：蓮生堂

# 人生の相棒

第二百七回



佐々木家を支ええる  
人懐っこい相棒

4年前、佐々木氏の著書『働く君に贈る25の言葉』がベストセラーになった。

社会人になった期の漁井に、人ごみや仕事にどう向き合うべきかを綴った名著だ。

「漁井は架空の人物で、じつは愛人のリョウから思いついた名刺なんです。木がまく光れ最大のお茶うけ、は、リョウかもしれませんか」

夫人がかつて病気にも苦しんでいたときも、リョウは犬舎に足音に寂しさに耐えていたときも、一人ぼっちになっても、

「一人ぼっちになっても、ままで散歩に出かけ、気分らしくに付き合っていたといふ。」

「インターホンが鳴れば、玄関に飛んで行ってお客様を迎えるベルボーンも来たしでくれています。」

愛想がよすぎて、泥棒が入っても、泥棒を怖がってしまひそう

ですけれどね(笑)」